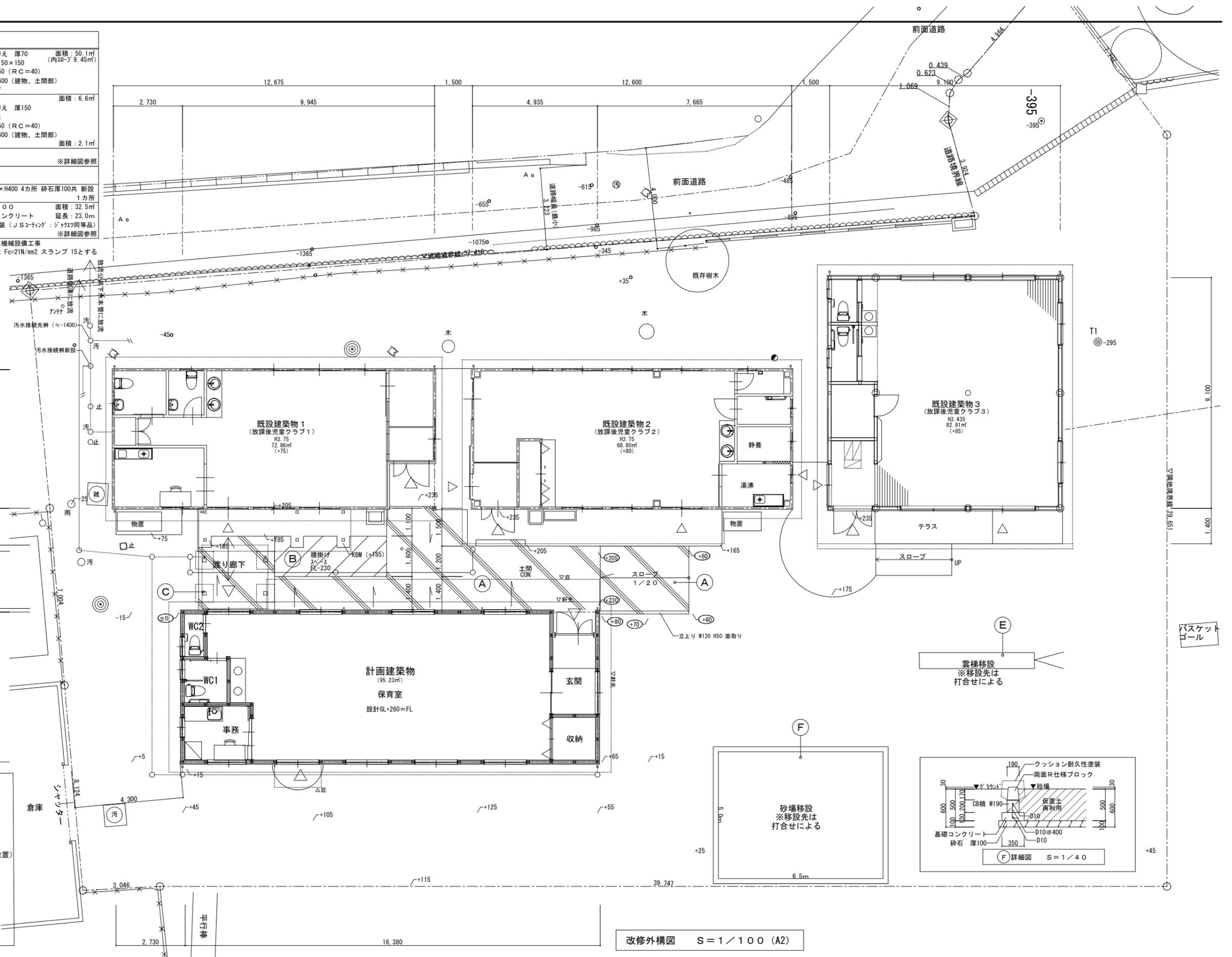


外構改修 凡例	
(A) コンクリート舗装	土間：コンクリート金ゴテ押え 厚70 面積：50.1㎡ ワイヤーメッシュ6mm150×150 (内込) 9.45㎡ 再生クラッシャーラン 厚150 (RC=40) あと施工アンカー-D10L450@600 (建物、土間部) ※スロープは剛毛引き仕上げ
(B) 護柵スペース	床：洗い出し仕上げ 面積：6.6㎡ 土間：コンクリート金ゴテ押え 厚150 D10@200 シングル 釘30共 再生クラッシャーラン 厚150 (RC=40) あと施工アンカー-D10L450@600 (建物、土間部) 立上り：モザイクタイル貼り 面積：2.1㎡
(C) 遮り廊下上屋	アルミ既製品 ※詳細図参照
(E) 雲梯移設	基礎コンクリート 400×400×H400 4カ所 砕石厚100共 新設 1カ所
(F) 砂場移設	洗砂 厚500、砕石 厚100 面積：32.5㎡ 境界ブロック、CB、基礎コンクリート 延長：23.0m 天端側面クッション耐久性塗装 (Jスコッチ)：シヤカワ同等品 ※詳細図参照

※雨水樹及び埋設雨水配管は機械設備工事
※外構工事のコンクリートは Fc=21N/mm2 スランプ 15とする



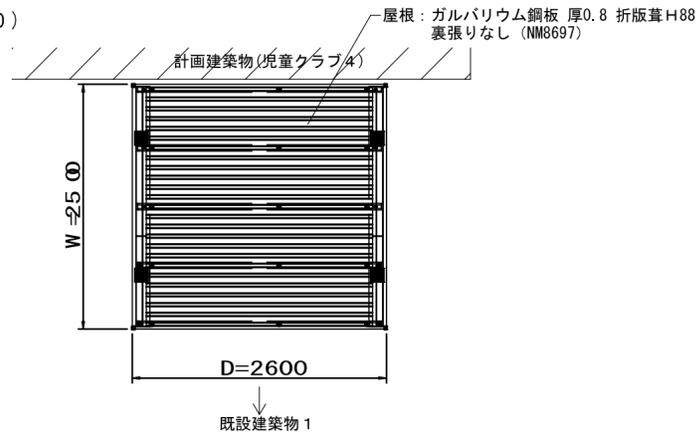
< 凡例 >

- (*) 計画レベルを示す
- (**) 現況のままの高さを示す
- 境界... 現地境界杭あり
- - - 境界... 現地境界杭なし (想定位置)

※設計GL=±0とする。
※KBM=設計GL+185とする。
※FL=設計GL+260とする。
※平均地盤面：最も低い地盤面の±0とする。

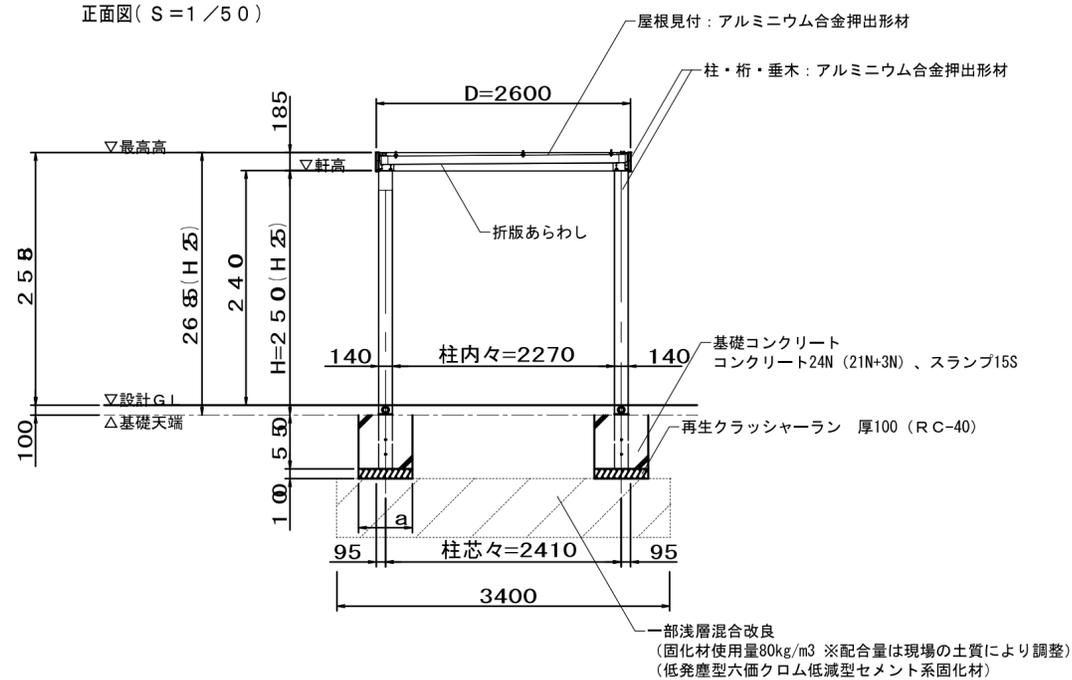
改修外構図 S=1/100 (A2)

平面図 (S=1/50)

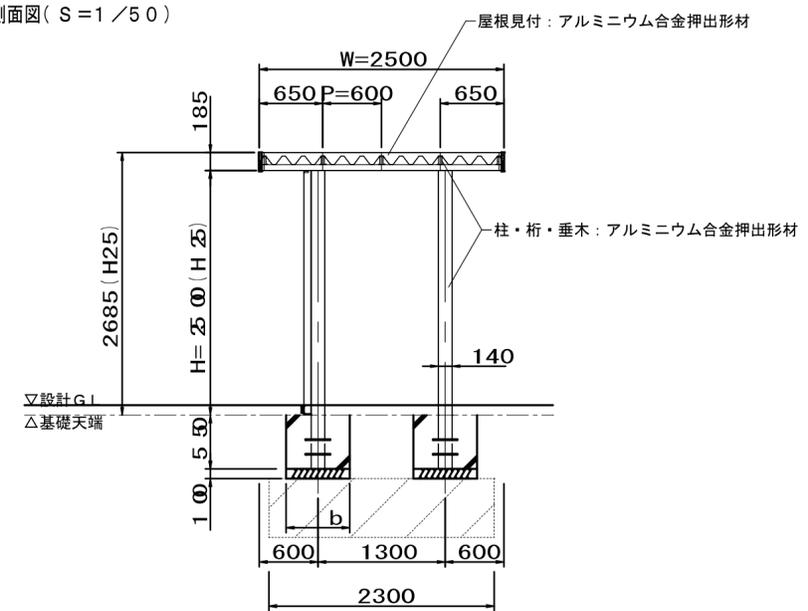


通路シェルター『ビームシェルター』(三協立山アルミ同等品)
 国土交通省告示 第408・409・410・750号適合品
 耐風圧38m/s、積雪1500N/m² (1cmあたり単位荷重30N/m²⇒耐積雪量50cm)
 (名張市：基準風速34m/s、垂直積雪量40cm)

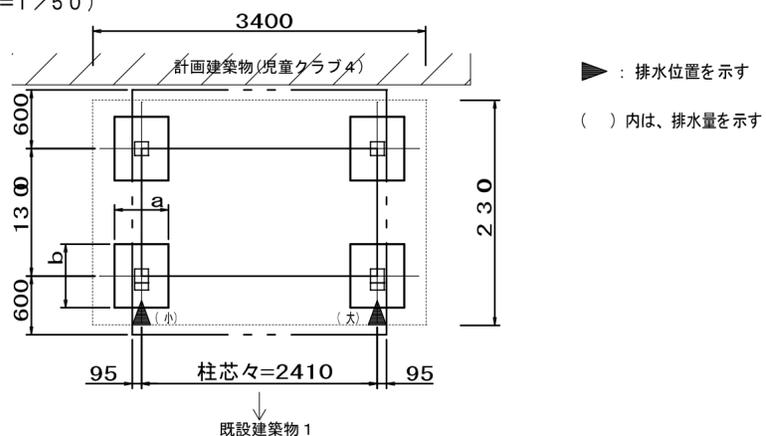
正面図 (S=1/50)



側面図 (S=1/50)



柱・基礎位置図 (S=1/50)



基礎寸法表

長期地耐力 (KN/m ²)	a (mm)	b (mm)
30	650	650
50	550	650
100	550	650

【凡例】



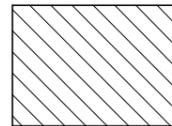
ベタ基礎コンクリート
スラブ：コンクリート金ゴテ押え 厚150
D13@200 シングル 行30共
押出し法ポリスチレンフォーム 厚25
ポリエチレンシート 厚0.15 2枚敷
再生クラッシャーラン 厚150 (RC=40)



浅層混合改良 厚1050 (渡り廊下は厚600) 長期地耐力20kN/m²
(固化材使用量80kg/m³ ※配合量は現場の土質により調整)
(低発塵型六価クロム低減型セメント系固化材)
・軸圧縮強度試験
・六価クロム溶出試験



外部土間コンクリート (外構工事)
土間：コンクリート金ゴテ押え 厚70
ワイヤーメッシュ6mm150×150
再生クラッシャーラン 厚150 (RC=40)
あと施工アンカー-D10L450@600 (建物、土間部)
※スロープは刷毛引き仕上げ



外部土間コンクリート (外構工事)
床：洗い出し仕上げ
土間：コンクリート金ゴテ押え 厚120
D10@200 シングル 行30共
再生クラッシャーラン 厚150 (RC=40)
あと施工アンカー-D10L450@600 (建物、土間部)
立上り：モザイクタイル貼り

1. コンクリートの設計基準強度は $F_c=21\text{N/mm}^2$ とする
耐久設計基準強度は標準 $F_d=24+6\text{N/mm}^2$ とする
 $F_m \geq \text{Max}(F_c, F_d) + S$
 F_m : 調査管理強度 F_c : 設計基準強度
 F_d : 耐久設計基準強度 S : 構造体強度補正値
2. スラブ 18とする
3. 捨てコンクリートは $F_c=21\text{N/mm}^2$ スラブ 15とする
4. 長期地耐力 20kN/m² を確認する事

採用	記号	壁の構造(1) 壁の構造(2)	筋かいの構造	倍率	
○	W1	-	木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
○	W2	-	木材 45×90以上 ダブル	4.00	4.00

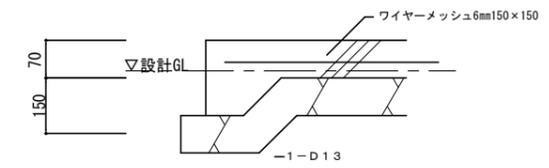
採用	筋かいの種類	接合部の仕様 (構造方法)
○	二	鋼板添え板 $t=2.3\text{mm}$ を筋かいに対してボルトφ12 及びスクリュー釘φ4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に 対してスクリュー釘φ4.5L50、5本平打ち。 筋かいプレートBP-2同等品

採用	記号	仕様	N	倍率
○	(い)	短ぼぞ差し、かすがい打ち	0.00	
○	(ろ)	L 字型金物	0.65	0.70
○	(は)	V 字型金物	1.00	1.00
○	(は)	T 字型金物	1.00	1.00
○	(に)	P 羽子板金物	1.40	1.40
○	(ほ)	羽子板金物+スクリュー釘50	1.60	1.60
○	(へ)	10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80
○	(と)	15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80

図中に記号がない柱は (い) とする
金物は基本的に柱頭、柱脚に同一金物を設置すること (通し柱の通し部は除く)

○	アンカーボルト12φ L=450 埋込み L=250以上・Zマーク同等品 (※特記無きアンカーボルト位置は柱芯から200とする)
△	土台継手位置

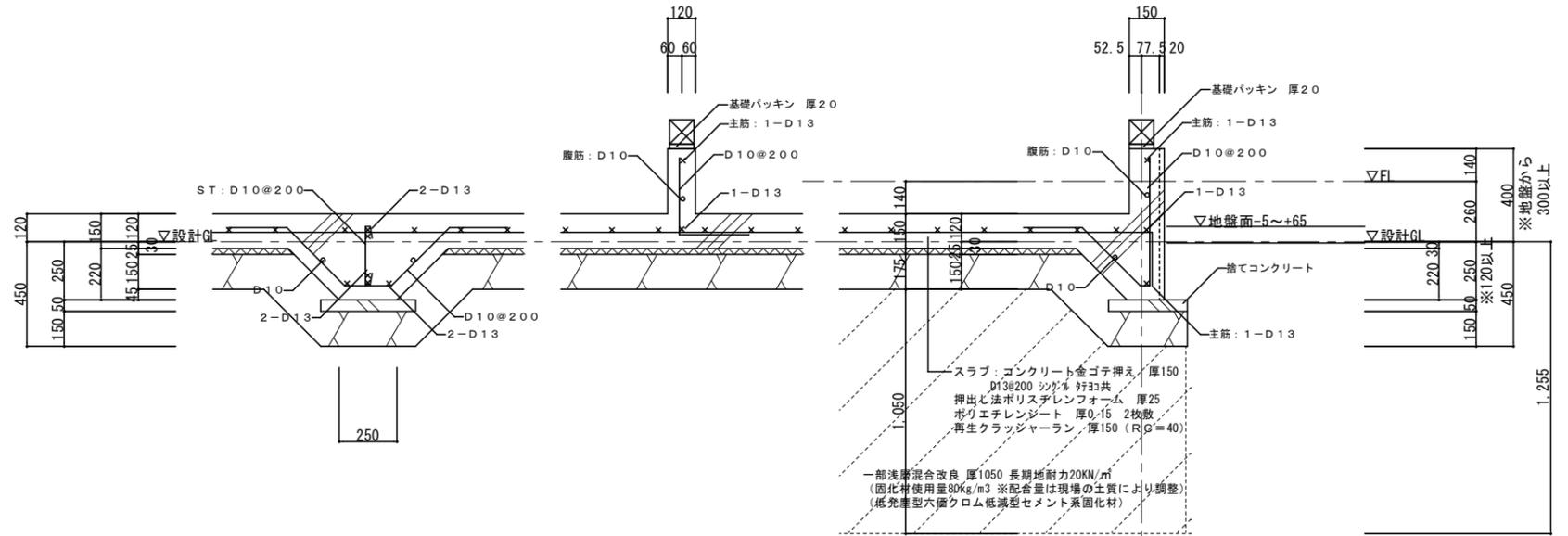
土間詳細図



地中梁部

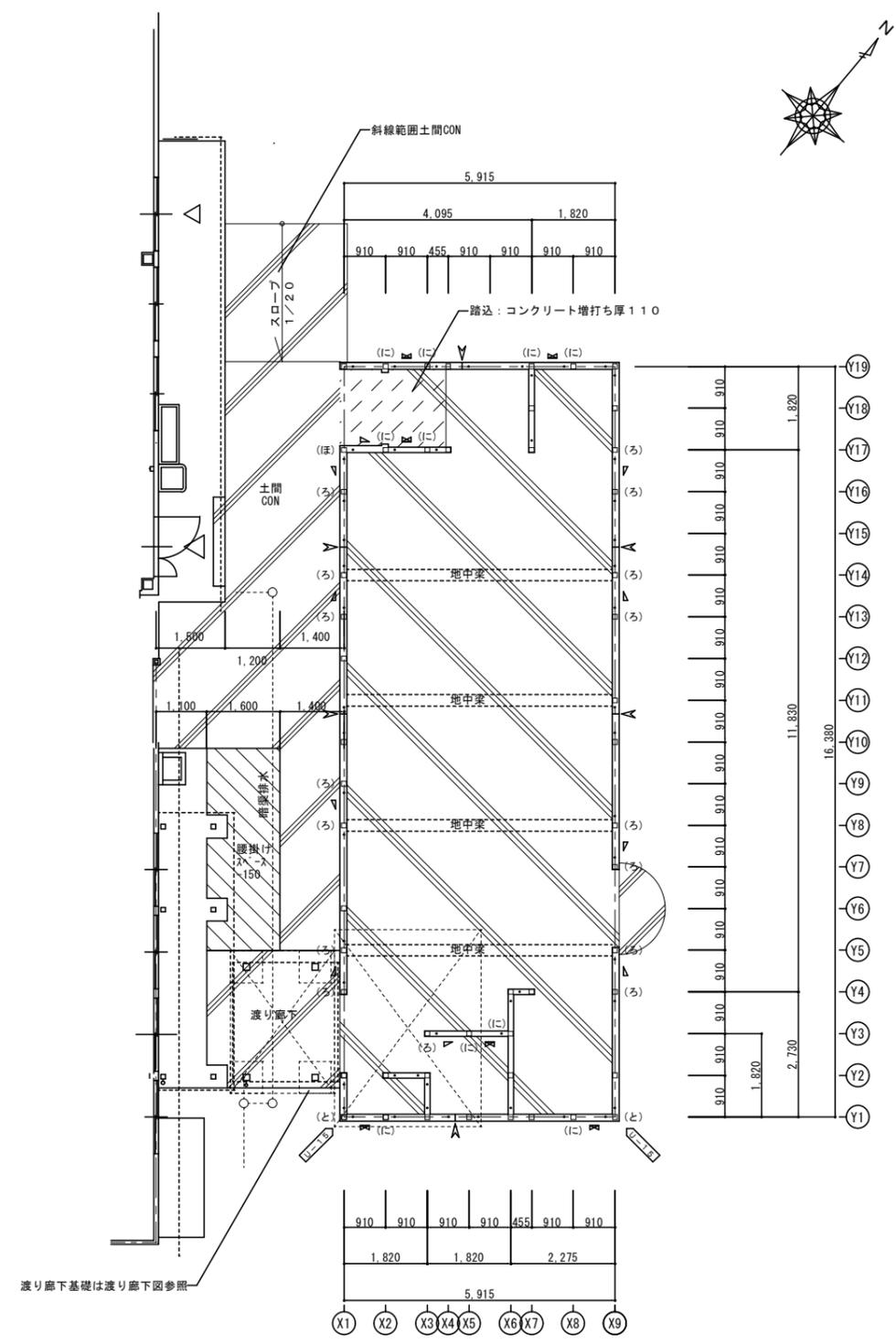
間仕切壁部

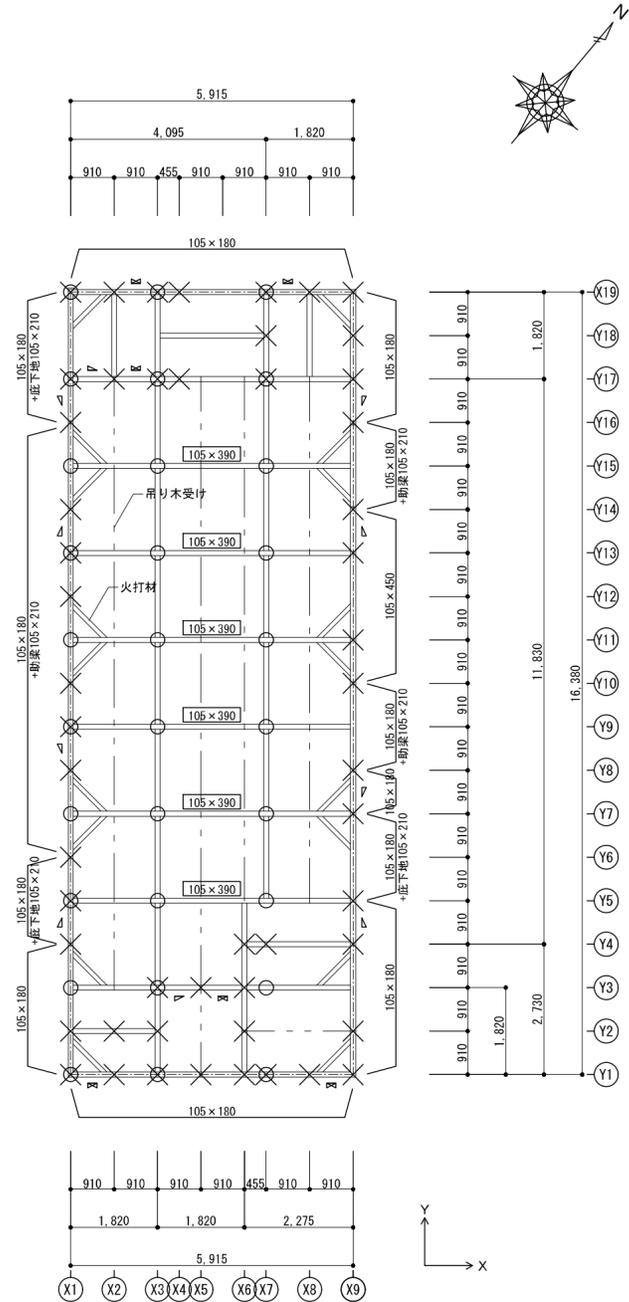
外周部



基礎伏図 S=1/20 (A2)

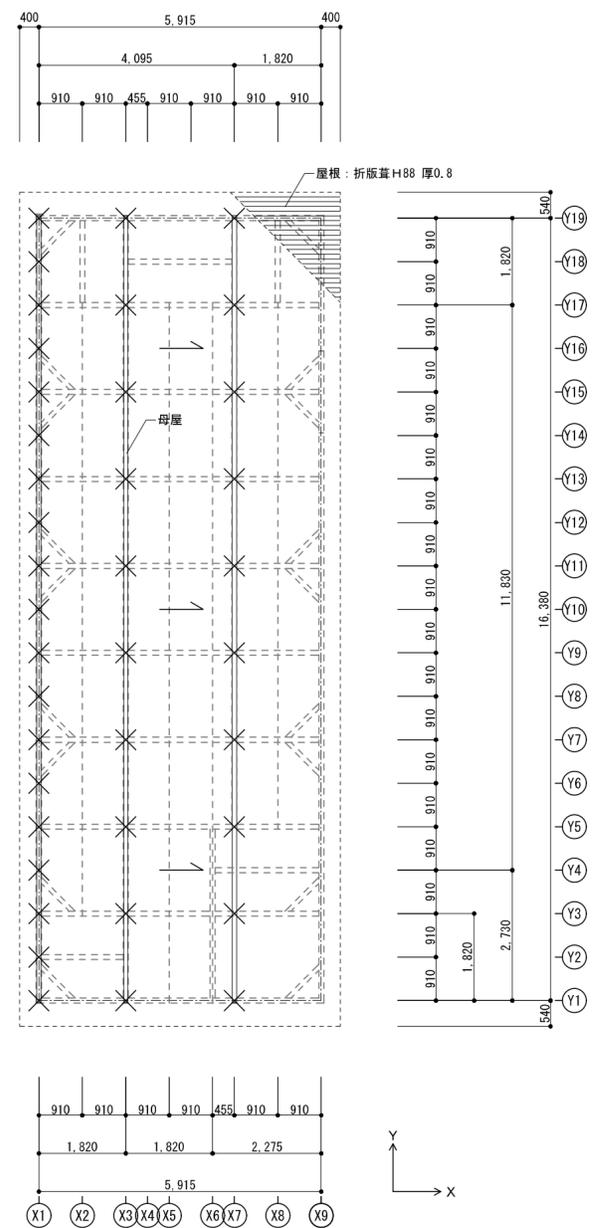
基礎伏図 S=1/100 (A2)





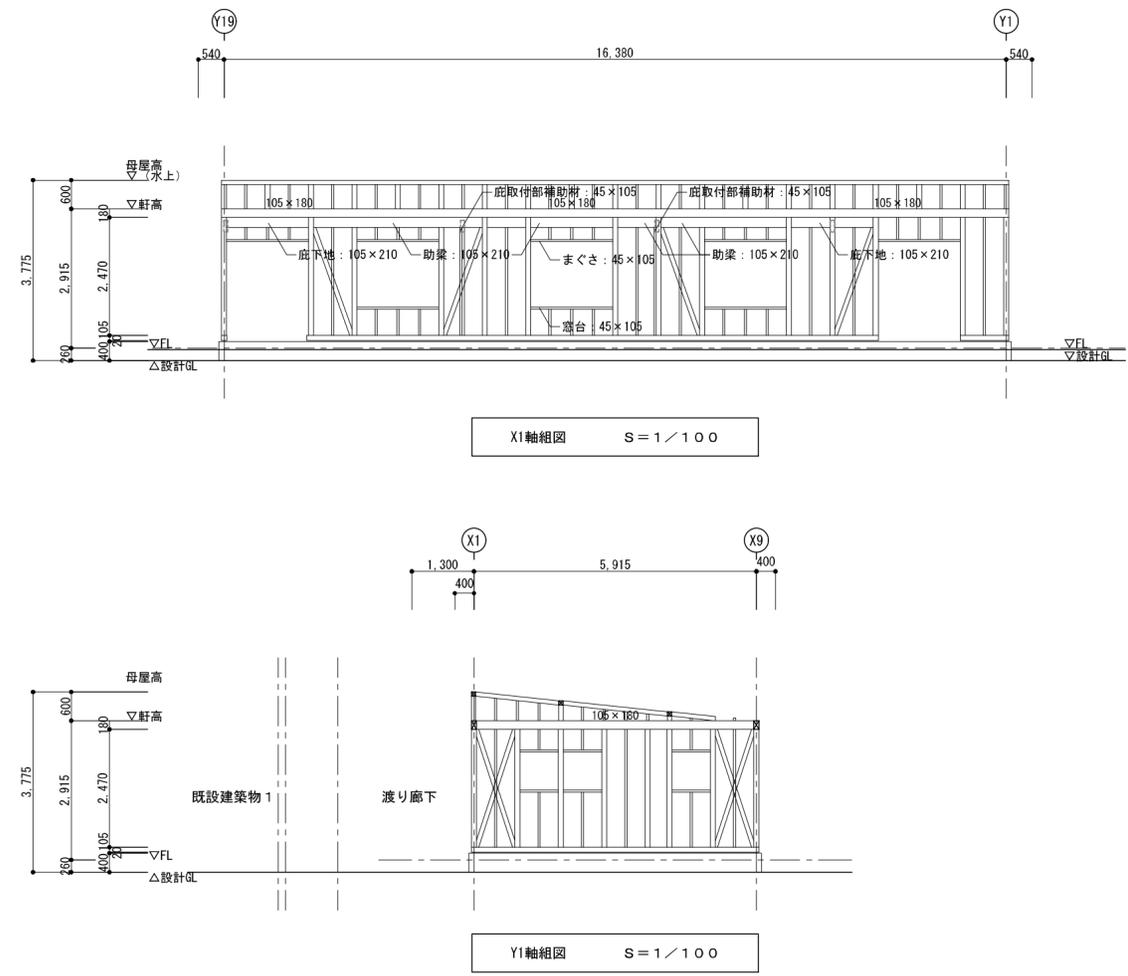
小屋梁伏図 S = 1 / 100 (A2)

- <凡例>
- × 化粧梁を示す
 - ⊗ 下階柱を示す
 - 小屋束を示す
 - 吊り木受けを示す
 - ⊞ 下階筋交いを示す 45×105 ダブル
 - ∟ 下階筋交いを示す 45×105 シングル



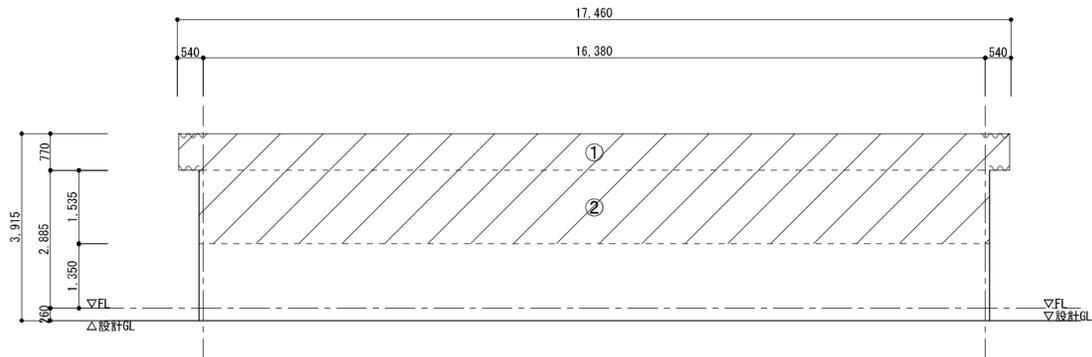
屋根伏図 S = 1 / 100 (A2)

- <凡例>
- × 化粧梁を示す
 - ⊗ 小屋束を示す
 - 屋根勾配を示す

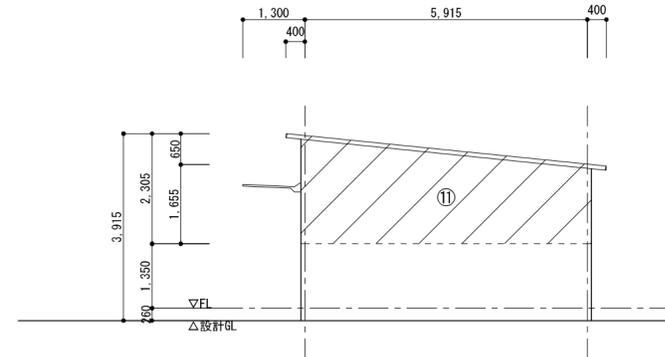


- <部材リスト>
- | | | |
|-----------|----------------|----------------|
| 梁 | 105×150~180 | 米松 特1等 |
| | ※特記なき梁は105×150 | |
| 助梁・庇下地 | 105×210 | 米松 特1等 |
| 化粧梁 | 105×390 | レッドウッド集成材 |
| 柱 | 105×105 | 桧KD材 特1等 |
| 間柱 | 45×105 | 杉 特1等 |
| 窓台・まぐさ | 45×105 | 杉 特1等 |
| 筋交 | 45×105 | 杉 特1等 |
| 土台 | 105×105 | 米桐 特一等 防蟻・防蟻処理 |
| 小屋束 | 105×105 | 杉 特1等 |
| 火打材 | 90×90 | 杉 特1等 |
| 母屋・棟木・妻側梁 | 105×105 | 米松 特1等 |
| 小屋筋交い | 30×90 | 杉 特1等 |
| 吊り木受け | 60×90 | 杉 特1等 |
| ころがし床組 | 根太45×40@303 | 杉 1等 |
| | 大引き 90×45@900 | 杉 1等 |
| | 鋼いモルタル | |
- ※ G Lから地上1mまでは 防蟻・防蟻処理を行うこと

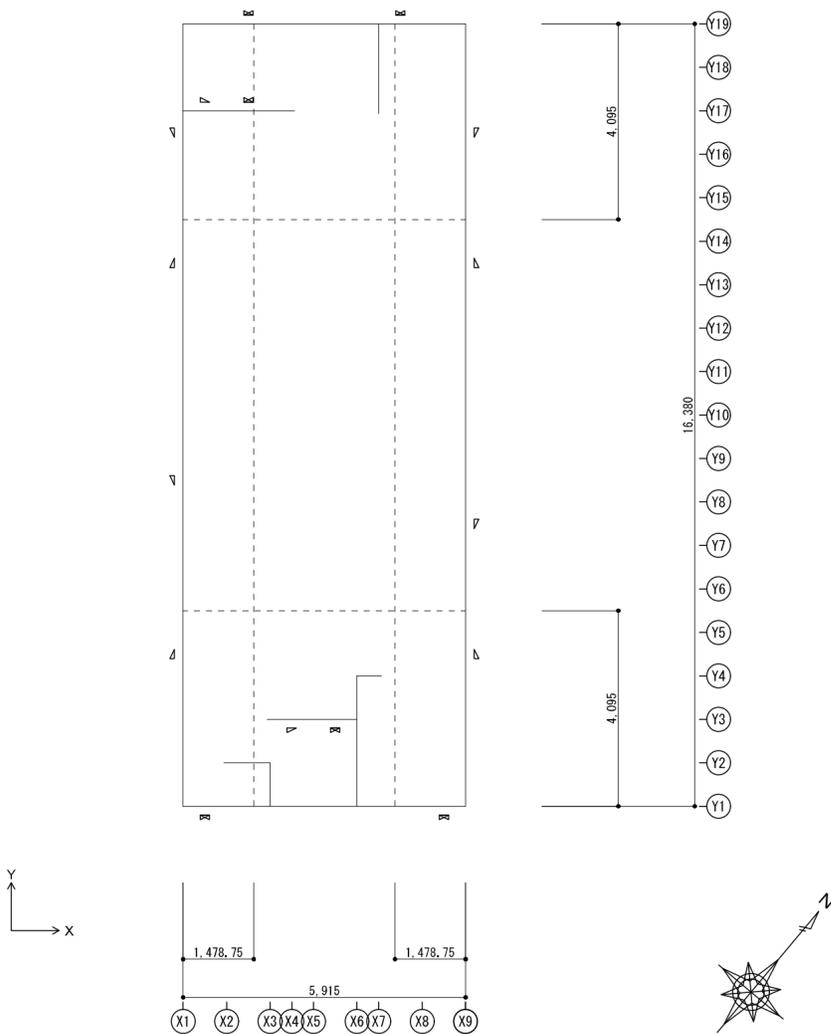
特記	工事名	名張小学校区放課後児童クラブ4施設整備工事		縮尺 A2 : 1 / 100 A3 : 1 / 141	図面番号 A-18	白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	承認 田中 西尾 安井	管理建築士 1級 256630号	印 宣室
	図名	小屋伏図・軸組図					〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp			



X方向見付求積図 S = 1 / 100



Y方向見付求積図 S = 1 / 100



平面求積図 S = 1 / 100 (A2)

○ 床面積表 (基準法) 単位 m²

階	方向	面積	計
1	X	5,915 × 16,38	96,887700
合計			96.89

○ 見付面積表 単位 m²

階	方向	面積	計
X	1	○	17,46 × 0,77 = 13,442
		○	16,38 × 1,535 = 25,1433
		計	38,5875
Y	1	○	(2,305 + 1,655) × 5,915 ÷ 2 = 11,7117
		○	
		計	11,7117

○ 必要壁量算定表 (基準法) 単位 m

階	方向	床面積	乗する数値	必要壁量
1	X	96.89	0.110	10.6579
(増築)	Y	96.89	0.110	10.6579

階	方向	見付面積	乗する数値	必要壁量
1	X	38.59	0.500	19.295
(増築)	Y	11.71	0.500	5.855

床面積(地震力)に係る条件

- 一般区域
- 特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍)
- 特定行政庁が指定するその他の区域
- 壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)
- 屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)
- 準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍)
- 割増し倍率考慮

見付面積(風圧力)に係る条件

- 特定行政庁が認める強風区域
- 上記以外の区域

○ 存在壁量算定表 単位 m

階	方向	記号	倍率	長さ	個所	壁量	合計
1	X	W1	2.00	0.910	2	3.640	25.480
		W2	4.00	0.910	6	21.840	
Y	W1	2.00	0.910	8	14.560	14.560	
		W2	4.00	0.910	0		0.000

○ 壁量判定表 (基準法) 単位 m

階	方向	存在壁量	判定	必要壁量		壁余裕度
				床面積(地震力)	見付面積(風圧力)	
1	X	25.480	> OK	10.6579	19.295	1.32
	Y	14.560	> OK	10.6579	5.855	1.36

○ 側端部分床面積表 (基準法) 単位 m²

階	方向	面積	計
1	X	上	1,47875 × 4,095 = 6,05548125
		下	1,47875 × 4,095 = 6,05548125
Y	左	1,47875 × 4,095 = 6,05548125	
		右	1,47875 × 4,095 = 6,05548125

○ 側端部分必要壁量算定表 (基準法) 単位 m

階	方向	床面積 m ²	物置等 m ²	合計床面積 m ²	乗する数値	必要壁量
1	X	上	0.00	6.06	0.110	0.666
		下	0.00	6.06	0.110	0.666
Y	左	0.00	6.06	0.110	0.666	
		右	0.00	6.06	0.110	0.666

○ 側端部分存在壁量算定表 (基準法) 単位 m

階	方向	記号	倍率	長さ	個所	壁量	合計
1	X	上 W1	2.00	0.910	1	1.820	12.740
		下 W2	4.00	0.910	3	10.920	
	Y	左 W1	2.00	0.910	1	1.820	
		右 W1	4.00	0.910	3	10.920	

○ 壁釣り合い判定表 (基準法) 単位 m

階	方向	必要壁量	存在壁量	壁量充足率	壁率比	判定	
1	X	上	0.666	12.740	19.129	1.000	OK
		下	0.666	12.740	19.129		
	Y	左	0.666	7.280	10.931	1.000	OK
		右	0.666	7.280	10.931		

全ての壁量充足率が1を超えているためOK